

学習プログラムを利用される先生方へ

- 1 千葉市立郷土博物館の「学習プログラムの例」として小学生向け9本、中学生向け9本を作成しました。原則として以下のような内容からプログラム化してあります。
 - * 千葉市の歴史、史跡、歴史的事象
 - * 千葉市の発展や課題と関わる産業
 - * 千葉市の地理
 - * その他、千葉市と関連のある題材市の各学年の指導計画の教材でも、各学年の発達段階に応じて取り組む視点やアプローチを変え、指導の仕方や資料をより分かり易いものに工夫して学習が進めやすいように作成しました。
- 2 例に示した計18本の内容でなくとも、各学校や先生方からの申し込みがあれば対応できます。授業の内容や進め方を話し合いながら決めていくこととなります。
- 3 授業教科としては基本的に「社会科」を想定していますが、「総合的な学習の時間」や「生活科」「道徳」「特別活動」等においても、歴史的要素や地理的要素を加えながら展開することができます。千葉市の児童・生徒の学習に役立つ内容であれば教科の内容や学年にこだわらず、申し込みに応じて授業内容を検討します。
- 4 館内の展示物や収蔵品、館内で作成した資料（過去の特別展の内容や出版物なども含めて）や千葉市が作成・発行した資料との関連で授業を行うことが望ましいですが、直接関連していなくても千葉市に関わることならば授業を行う方向で検討します。

また、1コマ分の授業を新しく創作・実施するだけではなく、授業づくりや資料に関する相談にも対応します。
- 5 出前授業の形態は以下のように考えられますが、いずれの場合にもよく話し合って決めていきます。
 - * エducator単独による授業
（1単位時間を基本としますが、複数時間授業についての相談は可能です。）
 - * 学級担任や教科担任とエducatorとのT.T.（主・副どちらも可）
 - * " がプログラムを使って行う授業の見守り
 - * 授業の一部に参加するゲストティーチャー など